

学習活動⑥ 総合的な学習の時間と関連した国語科授業

郵便局の「手紙の書き方体験授業」教材を活用し授業を行った。

(1) 1年生 礼状の書き方

1年生にとっては、中学校に入学して初めて行う「手紙の書き方」の学習を、9月の下旬に国語の時間1時間を使い、国語科担当教員1名で行った。これは、総合的な学習の時間で行う交流体験の直前に当たる時期である。

実際の授業では、まず初めに「手紙の書き方」(図1)を使って基本的な便せんの書き方を説明した。例文を参考に、宛て名や署名を実際のものにして、冊子で練習を行った(図2)。例文のようなあらたまった形の手紙を書いた経験のある生徒は少なかった。

次に、頭語と結語の関係や時候のあいさつについての紹介を「国語活用資料集」で補足した。例として挙がっているものを使うのが一般的だが、相手や状況によって様々な表現・方法があることや、礼状の中心となる主文には、交流体験当日のエピソードやそこで思ったこと・考えたことなどが入ると良いことを伝えた。

交流体験後、総合的な学習の時間1時間を使って、実際に礼状を書いた。指導は各施設担当者が行った。

図3の生徒が書いた礼状を見ると、体験時の職員の方の言葉や様子が主文の中に細かく書かれている。礼状にどのようなことを書くと良いのか、事前に学習することで、体験中もよりしっかり見たり聞いたりしようとするのではないかと思われる。

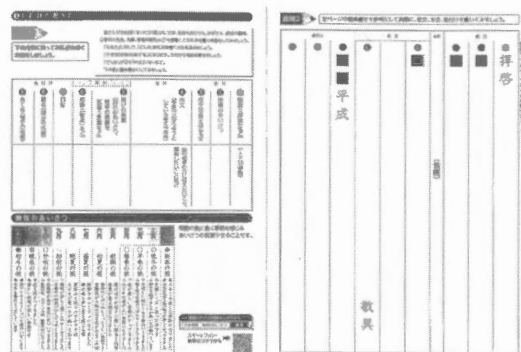


図1 「手紙の書き方」の冊子



図2 冊子に練習している様子

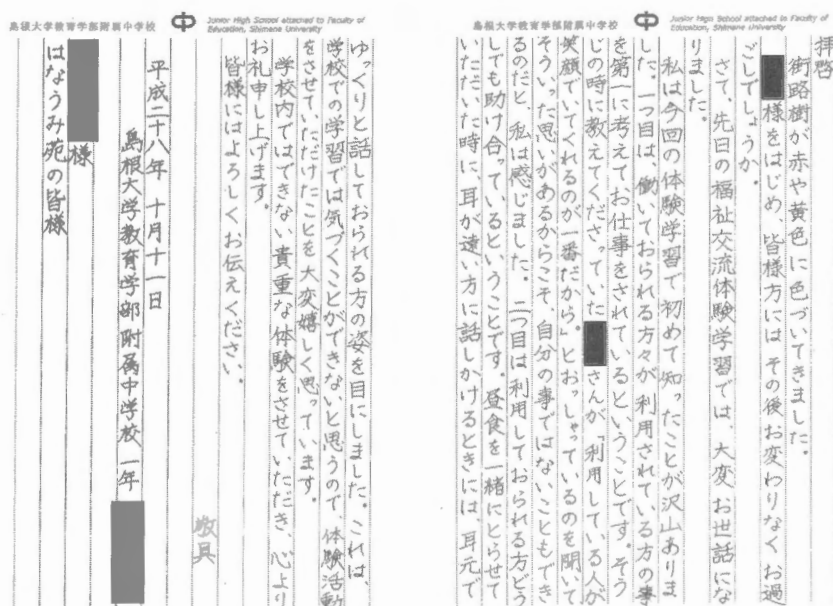


図3 生徒が書いた礼状

(2) 2年生 葉書の書き方

職場体験先へ事前訪問をするための打ち合わせの依頼と職場体験を受け入れてくださったことへの感謝の気持ちを伝えるために、国語の時間を利用して葉書の書き方の学習を1時間で行い、総合的な学習の時間1時間で仕上げた。

生徒に葉書を書いた経験があるかと尋ねると「年賀状ならある」「小学校の時に何か書いた記憶がある」と、あまり葉書を用いてあいさつや依頼等をした経験がないことが分かった。前年には、「手紙の書き方」を学習したので、想起させながら、時候の挨拶は季節感のあるあいさつとして葉書の前文として使われること、手紙のように多くの文を書けるわけではないので、要件をきちんと伝えるようにシンプルに書くことなどを伝えた。宛て名の書き方、葉書の構成について学習をして本文を書いた(図4)。授業では、国語科の担当教員(T1)と学年部教員(T2)の2名で行った。「手紙の書き方体験授業」教材では、実物の葉書をいただけるだけでなく、年賀状や冊子、授業で使える巨大な葉書の見本がいただけ授業で活用することができた(図5)。



図4 国語の授業の様子

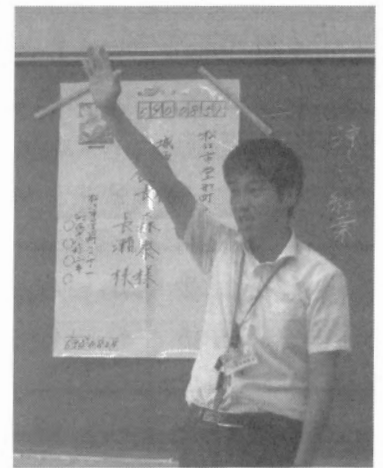


図5 巨大な葉書の見本を利用した様子

図6は生徒が書いた葉書の下書きである。「手紙の書き方」の冊子を使い、実際の葉書を意識して書くことができた。完成した葉書は、生徒自身でポストに投稿するように伝えた。いくつかの事業所から返信の葉書が届き、生徒に渡すと嬉しそうであった。

(3) 1・2年生 年賀状の書き方

交流体験や職場体験でお世話になった施設や事業所に宛てて年賀状を書く学習を国語科1時間、美術科1時間、計2時間で行った。1時間目は国語科担当(T1)、学年部教員(T2)で、「手紙の書き方」使って年賀状を送る意味や年賀状の歴史、基本的な書き方について学習した。年賀状を送る生徒は多いが、全て手書きで書いているという生徒は少なかった。次に郵便番号や住所、宛て名など、表面の書き方について説明し、続いて裏面について、年賀状にも前文・主

図6 葉書の下書き

文・末文・後付けがあることやそれぞれの役割など、基本的な書き方について説明した。後半はワークシートに、自分が交流体験に行った施設に宛てた年賀状の表面を下書きし、教員が点検した後、実際の年賀はがきに清書した。表面が完成した生徒は、ワークシートを使って、裏面の下書きを行い、次の時間に備えた。

2時間目は美術科教員（T1）と、学年部教員（T2，T3）で裏面を仕上げる時間をもった。まず初めに美術科教員が色鉛筆、クレヨン、コンテ、スタンプインクなど、使用可能な道具やその効果について説明を行った（図7）。生徒がワークシートに記入した文言については学年部教員が点検をし、誤りについては訂正させた。イラストなどについては、美術科教員がアドバイスをを行った（図8）。図9は、生徒が作成した年賀状である。生徒たちはそれぞれが工夫を凝らしてオリジナルの年賀状を完成させることができた。

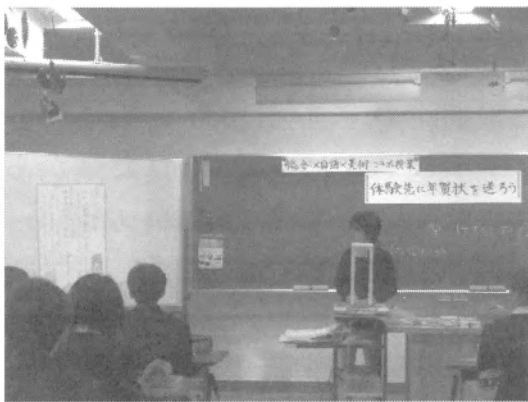


図7 美術の授業の様子



図8 生徒にアドバイスをする様子

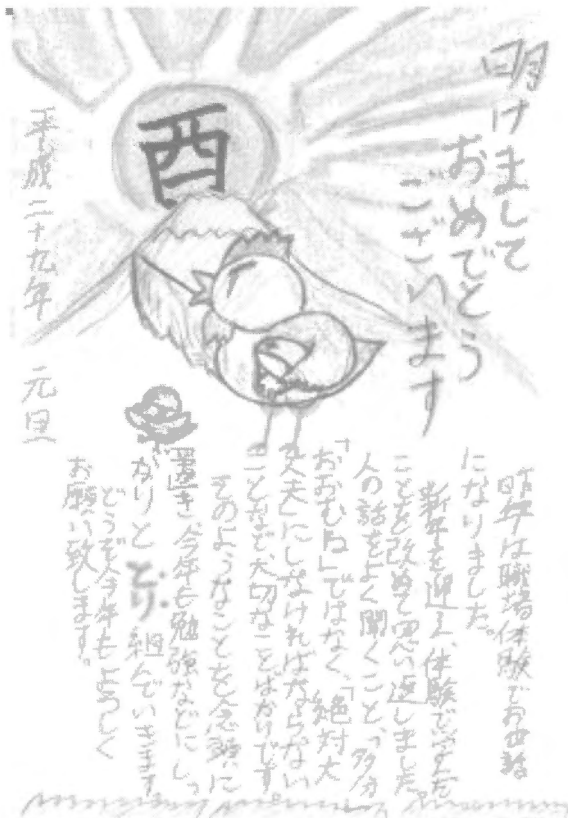


図9 生徒が作成した年賀状

